

第21回兵庫県がん診療連携協議会

「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」の運営現状

* 2025年9月16日付で第二協立病院(川西市)が「兵庫県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業施設」として認可を受けました。

令和7年度 第2回 がん診療連携協議会 幹事会の一部、内容が異なります。

患者背景

| | 女性 | 男性 |
|----------------|-------------------|-------------------|
| カウンセリング実施数 (名) | 43 | 38 |
| 総平均年齢(幅) | 29.4±9.9 歳(3-44歳) | 28.0±9.8歳(11-47歳) |
| 妊孕性温存希望者 (名) | 41 | 38 |
| 原疾患 (名) | | |
| 乳がん | 19 | 精巣腫瘍 10 |
| 白血病、リンパ腫 | 13 | 白血病、リンパ腫 21 |
| その他 | 9 | 骨肉腫、肉腫 1 |
| | | その他 6 |

(2025年1月～12月)

「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」による妊孕性温存

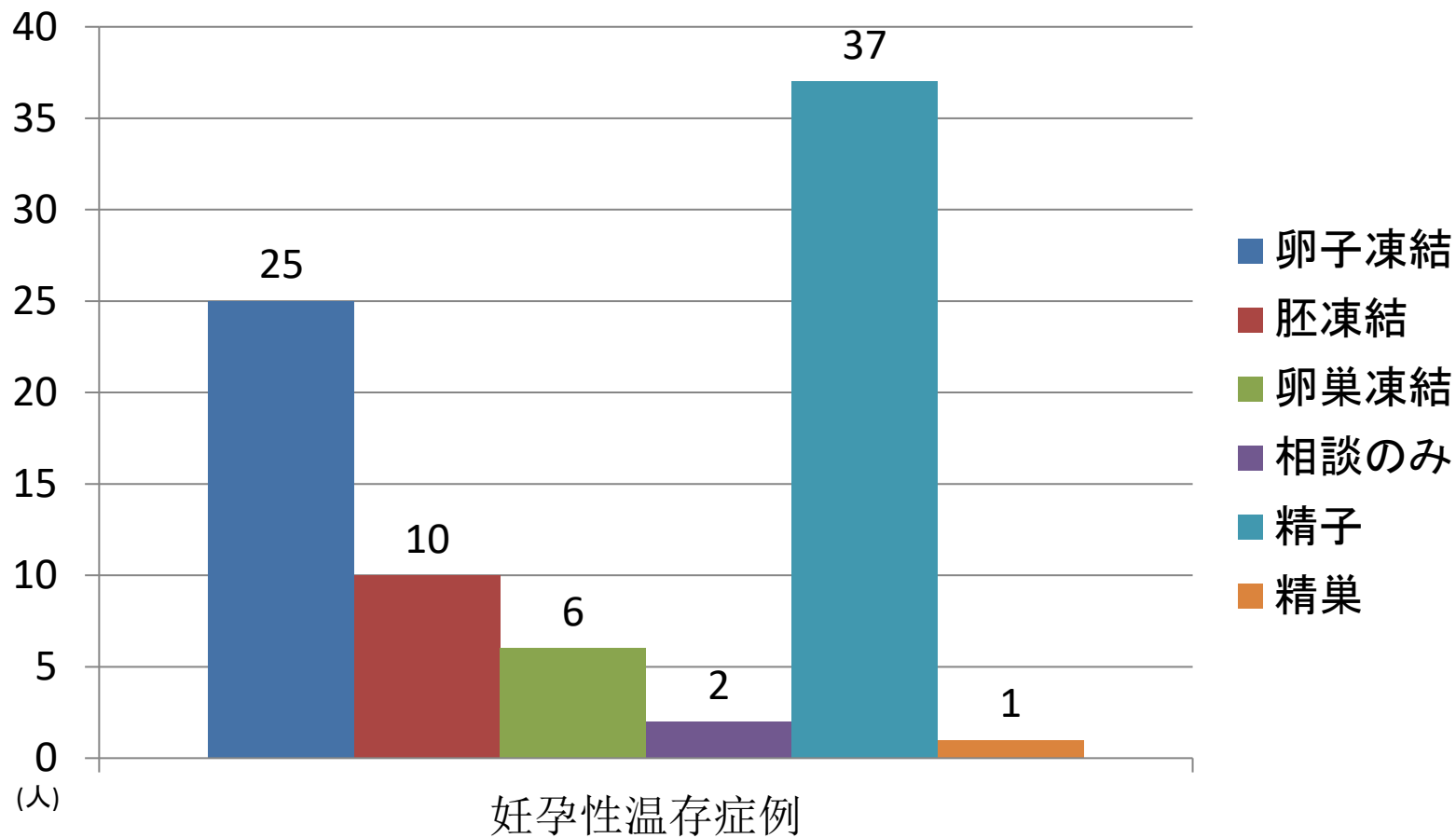
(2025年1月～12月)

| 不妊治療施設 (所在地) | 受精卵凍結 | 卵子凍結 | 卵巣凍結 | 精子凍結 | 精巣凍結 |
|------------------|-------|------|------|------|------|
| 英ウイメンズC (神戸市) | 4 | 16 | 0 | 30 | 1 |
| 兵庫医科大学 (西宮市) | 5 | 8 | 6 | 6 | 0 |
| 徐レディースC (西宮市) | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 第二協立病院* (川西市) | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |

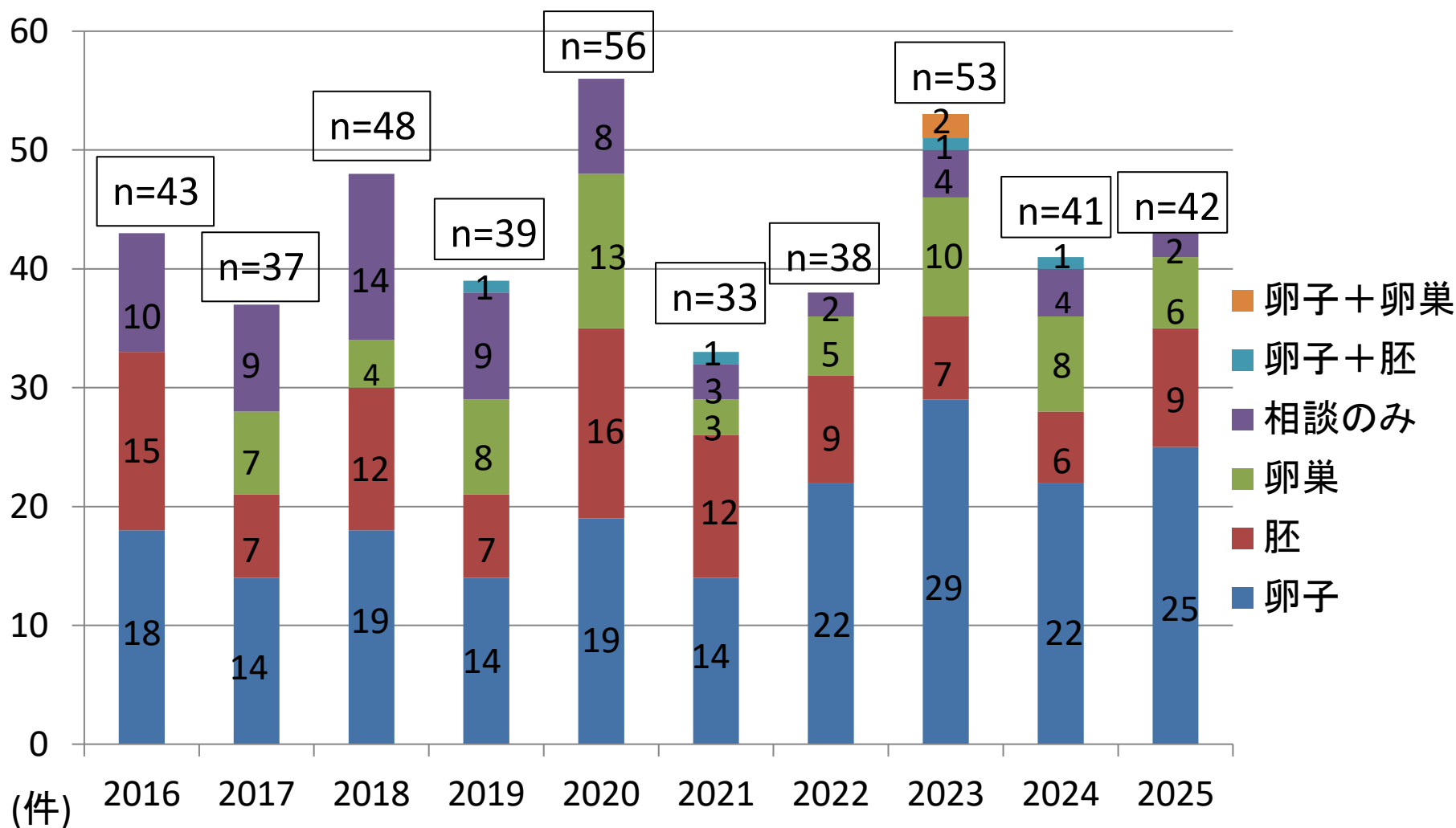
* 2025年9月16日付で「兵庫県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業施設」として認可

兵庫県統計

2025年1月～12月

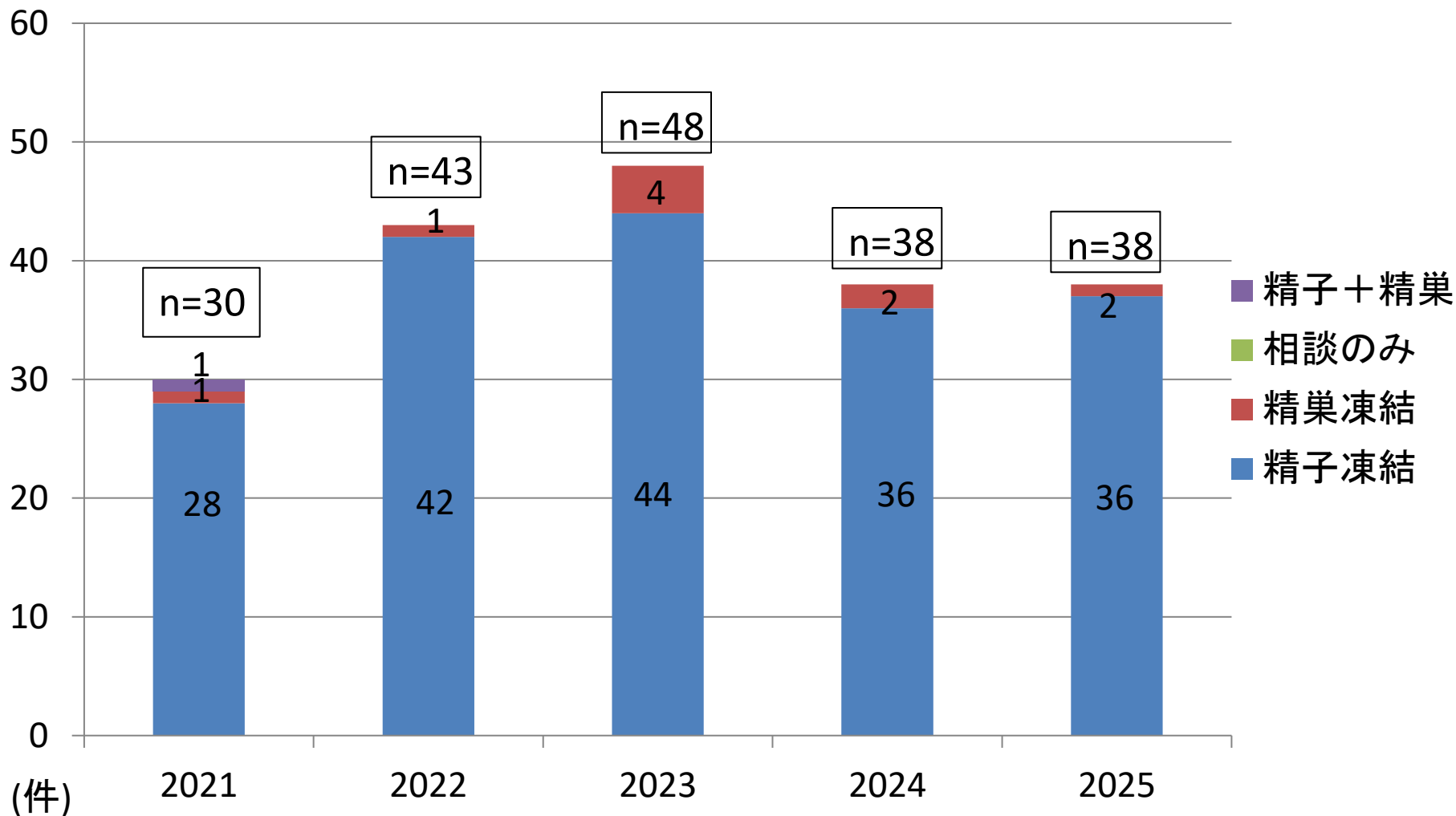


ネットワーク設立後の女性における妊孕性温存実施数の推移



- ・ 妊孕性温存療法研究促進事業：全国展開（2021年4月から）
- ・ 妊孕性温存治療費助成事業：対象外の市町あり（2022年4月から、対象外の市町あり） 5

ネットワーク設立後の男性における妊孕性温存実施数の推移



- ・ 2020年10月1日より男性も対象
- ・ 妊孕性温存療法研究促進事業: 全国展開(2021年4月から)
- ・ 妊孕性温存治療費助成事業: 対象外の市町あり(2022年4月から、対象外の市町あり)

兵庫県のネットワーク設立後の妊孕性温存症例のアウトカム

| | 胚 | 卵子 | 卵巢 |
|----------------|---------------|--------------|----|
| 凍結患者数 | 106 | 198 | 67 |
| 移植患者数 (移植率) | 52 (51%) | 13 (7.1%) | 0 |
| 妊娠成立数 (妊娠率) | 30 (57.7%) | 8 (61.5%) | 0 |

妊娠を計画したのは胚凍結した症例に多く、未婚患者に適用される卵子凍結や小児に適用可能な卵巢凍結の移植計画は、長期間の保存後になる可能性が考えられる。

2016年1月～2026年12月(10年間)

2026年1月時点の評価